



【2019-01-02】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう



今週の雑感
お正月だけは東京もよい

長野修二

お正月だけは東京もよい

わが家のお正月は、毎年東京（妻の実家）で過ごすことにしています。

理由は、私は両親が早くに亡くなりましたが、妻の母親は元気に妻の実家でくらしているからです。

東京のお正月は、私の好きなことがひとつあります。

喧騒が消え、当地と同じくらい静かになることです。

さらに人もいなくなり、田舎に住んでいるのと同じような感覚になれるからでしょうか。

とくに元旦は、そのような雰囲気になり、まるで東京を忘れてしまうような空間ができあがっています。

それでも散歩がてら代官山へいくと、日頃の東京をみるようで少し頭の中が混乱してしまいます。

東京の非日常になるのは、妻の実家の近所だけのようですが、それでも落ち着いた雰囲気の中でお正月を迎えることができることに感謝しています。

だいたい東京のお正月は天気もよく穏やかに迎えることが多いと記憶しています。

家族でおせち料理を食べて近くを散歩するのがわが家のお正月行事でしょうか。

マギーをつれて近所を散歩すれば、澄んだ空気とともに雪景色をいただいたきれいな富士山もみられ、お正月らしいおめでたさがあります。

こんな静寂も三が日ですが、それでも心地よい年明けを迎えられることは、なににもまして幸せなことだと感じられます。

今年は、どのような年になるかわかりませんが、ひと時の静けさの中で迎えるお正月は、家族にとって誠にありがたいものです。

大変なお正月を迎えている方も多くいる中ですが、いずれこの地でもこの静寂を破る困難が発生するでしょう。

それでも人は、この時間と空間の中で、せめてお正月の雰囲気を大切にしながら生きていきたいものです。

